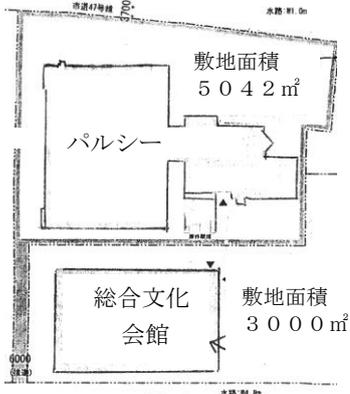


こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです



《建設予定場所》



蓮田市総合文化会館

文化を育てる拠点ようやく実現へ

日本共産党は毎年予算要望書で「市民ホール」建設を市に求めています。文化活動は豊かな市民生活に欠かせないもの。その拠点がようやく実現することになります。

■場所はパルシー隣接地（現駐車場）に
■規模は500席

「駅周辺に造れないか」「500席は必要か」「市の財政は大丈夫か」などの声もでていますが、日本共産党は以下のように考え、市長提案に賛成しました。

規模

「身の丈にあう規模」
500席が妥当

市民の利用を想定すると

- ①市内小中学校音楽発表
(35人×13校=455人)
 - ②市内成人式(7～8割の出席率で約500人)
 - ③市内文化団体発表会(団体アンケートでは、必要な座席数は300～600席が最多)
- 他に劇、映画、コンサート、講演会など、500席前後は妥当だと考えます。

場所

パルシーに隣接で
メリット

まず土地の取得費がゼロですみます。
さらにパルシーとの相互利用が可能で、施設及び駐車場に十分な広さがあります。
駅周辺の場合、渋滞や敷地確保の困難があり、立体駐車場では多大な費用がかかります。

財政

積み立てた基金で
建設が可能に

財政調整基金と公共施設整備等基金をあわせ、約21億5千万円があること。財政運営の1つの指針となる公債費負担比率が好転し、財政的にも見通しがたったことで建設は可能と考えます。

※ 市民公募の2人の委員も参加している「建設懇談会」で今後、施設の内容等について検討していくことになっています。

今後の課題 — 日本共産党は求めています

- ◎パルシーへの交通の利便性をより高めるために
バス時間変更、路線を増やす、増便など。
- ◎総合文化会館の利用率を高める工夫



日本軍
「慰安婦」
問題

志位質問

首相に「河野談話」見直し
を封印する答弁引き出す

日本軍「慰安婦」問題について、日本共産党・志位委員長は1月31日の代表質問で、戦時中の日本軍の関与と強制を認めた「河野談話」を見直すといってきた安倍首相の誤った見解をただしました。

志位委員長は「強制を立証する文書、証拠がないから強制の事実はない」という口実で見直しをいう議論は成り立たない。慰安婦の証言の真実性にもとづいて政府として強制性を認め判定した事実経過をもとに、総理の見解を問いました。

これについて安倍首相は「慰安婦問題についても筆舌に尽くし難い思いをされたことを思い、非常に心が痛みます。この思いは歴代総理と変わらない」「この問題を政治問題、外交問題化させるべきでない」と考える。総理としては差し控える」と、この間の自らの発言を封印する形となる答弁を引き出しました。



代表質問に立つ志位委員長。奥は安倍晋三首相（「赤旗」より）

黒浜後援会で昇仙峡・石和温泉に行ってきました



【温泉に浸かった後は昼食です】

11月6日（火）に小山市議を含めて12名で、山梨県の昇仙峡と石和温泉に日帰りバス旅行に行ってきました。

行きは雨が強く昇仙峡はあきらめ、早

目に石和温泉に入って温泉と食事で楽しみました。午後には晴れてきたため急遽昇仙峡にも行くこととなり、計画通り紅葉も楽しめました。

ホームページもご覧になってください

パソコンやケータイ（スマートフォン）などから、「日本共産党黒浜支部・後援会」（「黒浜支部」でもOK）と検索していただければ、ご覧になることができます。

「小山市議のページ」やこの「こんにちは小山ゆりえです」のバックナンバー、「活動紹介」などが見られます。

日本共産党黒浜支部・後援会

検索

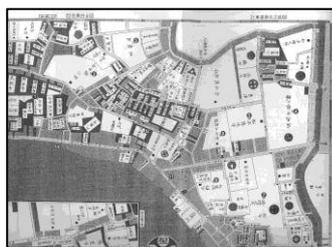
わたしのホットにゆうす



史跡めぐりが趣味です



江戸城（現皇居）大手門を案内する秋山さん（中央）



上は前回の丁寧な案内書。下は添付された江戸の古地図。

緑町にお住まいの秋山瑞雄さん（80歳）は史跡めぐりが趣味です。医療生協蓮田支部の運営委員をなさっており、2ヶ月に1回ほど取り組まれる「歴史散歩」の計画と案内を一手に引き受けておられます。今年最初の「歴史散歩」では1月26日

（土）が旧暦の12月15日にあたることから、泉岳寺を中心とした赤穂四十七士ゆかりの場所を訪ねました。次回3月は岩槻の街と慈恩寺の予定だそうです。いろいろとプランを練ったり、事前の下見などで大変だが、それがまた楽しいとのことでした。